

佐太小学校だより



佐太っ子

令和6年2月20日
文責 校長（小山美子）

佐太小
ホームページも
ご覧ください！



2月7日（水）に、令和5年度最後の授業公開を行いました。どの学年も、自分の考えや思いをしっかりと表現することができ、保護者の方々に、子どもたちの一年間の成長を見ていただくことができました。

【1年生】

生活科「できるようになったよ発表会」



入学してから、毎日元気いっぱい、友達となかよく、学習も体づくりもがんばってきました。様々なことが上手にできるようになった姿を見られました。

【2年生】

生活科「ありがとうの会」



自分が小さかった時を振り返り、今の自分と比べて成長したことを喜びました。そして、それを支えてくださった保護者の方に感謝の手紙を渡しました。

【3年生】

総合的な学習の時間「松江のすてきを伝えよう」



1年間、ふるさと松江の魅力調べてきた3年生は、学習を通して、歴史と文化を大切に受け継いでいきたい思いがふくらみました。

【4年生】

総合的な学習の時間「10才を祝う会」



「10才のちかい」では、自分の夢や目標を堂々と発表しました。保護者の方へのメッセージでは、これまでの感謝の気持ちを伝えることができました。

【5年生】

社会科「わたしたちの国土」



「竹島」について学習をしました。竹島の歴史などを知り、その解決のためにどうしていくとよいのかを真剣に考えていました。

【6年生】

総合的な学習の時間「将来になりたい職業」



小学校最後の授業公開でした。自分になりたい職業について調べたことを、パワーポイントにまとめ、堂々と発表しました。

【今年度の締めくくりと次へのバトンパス】

令和5年度も残り1か月あまりとなりました。「みんなの笑顔が輝く佐太小学校」にするために、6年生が中心となって1年間取り組んできた委員会の締めくくりとなる【児童総会】が行われました。そして、【6年生を送る会代表委員会】や後期委員会が始まるなど、次のリーダーへのバトンが渡されようとしています。

【児童総会】



【6年生を送る会
代表委員会】

【学校評価】 2学期末に児童とその保護者対象の学校評価をしました。
 保護者の皆様には、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。
 ～今年度の学校評価の評価項目～

(結果：保護者)

| ※4段階で回答(4:とてもそう思う3:少しそう思う 2:あまりそう思わない1:そう思わない) | 肯定的評価の割合 | 昨年度との比較 |
|---|----------|---------|
| 子どもは、学校で学習したことを おおむね理解している。 | 91.3 | ↑1.4 |
| 子どもは、授業に進んで取り組んでいる。 | 92.5 | ↓0.3 |
| 子どもは、進んで図書館を活用した学習や読書活動に取り組んでいる。 | 71.3 | ↑0.1 |
| 子どもは、進んで宿題や自主学習に取り組んでいる。 | 66.3 | ↓5.8 |
| 学級や学校は楽しいと感じている。 | 95.0 | ↑2.4 |
| 学校は、学ぶ場所としての環境が整っている。 | 96.3 | ↑0.6 |
| 子どもは、友だちを無視したり、いじめたりせずに仲良く過ごしている。 | 100 | ⇒0 |
| 学校の先生は、子ども一人一人の気持ちを考えてくれる。 | 91.3 | ↑1.4 |
| 子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」など、正しい生活を心がけている。 | 85.0 | ↑0.9 |
| 子どもは、安全に登下校できている。 | 96.3 | ↑0.6 |
| 学校は、積極的に保護者や地域ボランティアと連携しながら、開かれた学校づくりに努めている。 | 97.5 | ↑0.4 |
| 学校、学年・学級便りで学校での様子がよくわかった。 | 93.8 | ↑5.4 |
| 学校は、保護者からの問い合わせや相談に丁寧に対応していた。 | 92.5 | ↓0.3 |

4・3と回答されたものを肯定的評価と捉え、その割合を示しています。スローガン「みんなの笑顔輝く佐太小」のもと、子どもたち一人一人を理解することに対し、教職員が一丸となって取り組んできたことを肯定的に評価していただき、ありがとうございます。また、今年度はアンケート回収率が100%となりました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。今後も、子どもたち一人一人を大切に、徹底した児童理解を土台にして、指導を積み重ねていきたいと考えます。

7割前後にしか達していない肯定的評価の低い項目は、今年も「図書の活用・読書活動」「家庭学習」でした。読書活動については、毎年少しずつですが、肯定的評価の割合は上がっています。学校では週3日の朝読書の時間「もくもく読書」を設定したり、各教科で、学校司書と連携・協力して学習を行ったりするなど、様々な取組を進めました。また、子どもたちが家庭で読書に親しむことができるよう家

読カードを活用し、それを月末に保護者の方に見ていただくことで、お子さんの読書の様子について知っていたなど、読書活動の推進を行っています。しかし、まだ十分とは言えない回答結果であることから、子どもたちの読書に親しむ取組を家庭と協力しながら一層進めると同時に、学校での図書館活用の様子について、おたよりやホームページなどを通して、保護者の皆さんに伝えていきたいと思ひます。

家庭学習については、昨年度と比較して肯定的な評価が大きく下がっています。家庭学習には、漢字練習や計算といった基礎的な力の定着のためのものと、自分で課題を見つけそれを追求する自主学習があります。子どもたちが基礎的な力を身につけ、知的好奇心を高め、進んで取り組みたいと自らが思えるような働きかけを今以上にしていかなければと考えます。また、タブレットを活用した授業も増えており、4～6年についてはタブレットの持ち帰りも行っています。授業で行うタブレットを活用した学習を家庭学習で発展的に取り組むようにする等、上手にメディアを活用する力も身につけさせていきたいと思ひます。これからも、子どもたちが進んで家庭学習に取り組む方法について、ご家庭と連携しながら考えていきたいと思ひます。

【第3回 学校運営協議会】

今回の学校評価の結果を受けて校内で考察した内容について、2月15日の学校運営協議会において、委員の皆様からご意見をいただきました。この日は、5校時の授業の様子も参観していただきました。

～授業を参観して～

- ・高学年は落ち着いていた。中学年は元気がよく、子どもたち同士の仲のよさが伝わってきた。
- ・1年生の授業を通して、体と心の成長を感じた。
- ・授業参観を通して、毎日の一つ一つの積み重ねが大きな成長につながっていくことを感じた。
- ・ひじをつく姿やあくびをする姿が見られた。心配である。

～学校評価結果について～

- ・あいさつを始めとして、人とつながることが大切である。メディアで「見た」「調べた」ことで知った気にならず、体験を通して学んでいくことが重要と考える。そういう意味でも「ふるさと学習」は大事にしてほしい。地域は、学校、子どもたちを応援している。
- ・読書が苦手な子どもは、選書も難しい。その学年や子どもにあった本が選びやすいような仕組みがあるとよい。
- ・基本的な生活習慣を身につけるためには、保護者の考えが重要だ。価値観や基準が家庭によって異なるため難しいところもあると思う。
- ・学校評価の項目に運動に関わるものがない。体力や運動能力も大切だと考える。